

プレスリリース

横浜創英中学・高等学校 × オリィ研究所

登校が困難な生徒の支援・遠隔授業において遠隔操作ロボット「OriHime」の運用を開始

横浜創英中学・高等学校(所在地:神奈川県横浜市、校長:本間朋弘)は、株式会社オリィ研究所(所在地:東京都中央区、代表取締役 吉藤 健太郎・笹山 正浩、以下「オリィ研究所」)と共同で、遠隔操作ロボット「OriHime」を活用し、登校が困難な生徒への学習支援と遠隔授業の運用を令和7年度4月から開始します。このことにより、OriHimeを通じた新たな学びの形を探り、登校が困難な生徒が学校とつながりを持ちながら主体的に学べる環境の構築を目指します。

■ 導入の背景

横浜創英中学・高等学校は、2025年度より高等学校のカリキュラムを改正し、自由選択科目を大幅に拡大するなど、生徒主体の学びの多様化を推進しています。その一環として、登校が困難な生徒が単位履修及び習得を目指すことができる仕組みの整備に取り組んでいます。高等学校においては36単位まで、この運用で単位の履修を認めていく方針。

オリィ研究所が開発する「OriHime」は、遠隔地からのコミュニケーションを可能にする分身ロボットで、病気や障がいなど様々な理由で外出が難しい「移動困難者」の方々の社会参加を支援してきました。本運用では、OriHimeの活用により、登校が困難な生徒等がリアルタイムで授業に参加し、クラスメートや教員とコミュニケーションを取れる環境を整備することを目指します。

■ 関係者のコメント

横浜創英中学・高等学校 校長 本間朋弘

「本校では、生徒一人ひとりが主体的に学べる環境づくりを推進してきました。OriHimeを活用することで、登校が困難な生徒が欠席による単位未履修及び未習得を諦めず、『自分も学校の一員である』と感じられる機会を増やしたいと考えています。」

株式会社オリィ研究所 代表取締役 吉藤オリィ

「実際の身体で登校することが難しい生徒さんでも、OriHimeを使うことで自らの「分身」として学校生活に参加することが可能です。私自身、病気のために不登校となり約3年半ほとんど学校に通うことができませんでした。そのことから家や病院からでも学びや遊びを続けられる環境が実現し、孤独の解消につなげたいという思いでOriHimeは生まれました。

OriHimeの活用で生徒さん達、あるいは教育の場で新たな可能性が広がることを楽しみにしています。」

■ 本件に関するお問い合わせ

・横浜創英中学・高等学校 副校長 山本 崇雄

TEL: 045-421-3121 Email: tkyamamoto@soei.ed.jp

・株式会社オリィ研究所 広報担当

Email: pr@orylab.com

■ 会社概要

横浜創英中学・高等学校

所在地: 〒223-0004 神奈川県横浜市神奈川区西大口28

設立: 1940年

特徴: 生徒主体の学びを推進し、自由選択科目の拡充やICT活用を積極的に進める。

株式会社オリィ研究所

所在地:東京都中央区日本橋本町3-8-3 日本橋ライフサイエンスビルディング3

設立:2012年

事業内容:「人類の孤独を解消する」を理念とし、遠隔操作ができる分身ロボット「OriHime(オリヒメ)」の開発・提供等を行っている。

本取り組みの進展については、随時発表してまいります。